

平成青木時報

2014年（平成26年）3月1日 第9号 発行：平成青木時報編集部 題字：三四六

記録的大雪、村内にも大きく影響 学校休業、通行止め、バスの運休も

2月14日（金）夜から降り続いた大雪により、県内では群馬県境と山梨県境を中心に、車の立往生や孤立集落が発生。高速道路や電車の通行止めが続ぎ、多くの被害をもたらした。

村内で15日（土）、大雪により村内の除雪が間に合わず車が通れない道も多く、多くの方が雪かきに追われた。村では早急に対策本部を設置。図書館、くつろぎの湯、美術館などの施設が臨時休業。ごみの収集と、ラポートあおきの配色サービスも中止になった。

（鹿教湯温泉方面）は通行止め。無理な外出を避けるよう呼びかけた。翌16日（日）も千曲バス青木線運休。17日（月）小中学校が休校。千曲バス青木線と村営バスも終日運休となり、日常生活にも大きな影響が生じた。

18（火）、19（水）村営バスはワゴン車による代替運行で始発から運行（別荘管理事務所、原池、原池公民館、深山の各バス停へは停車せず）。豆石峠通行可能に。

20（木）国道143号線 青木峠（松本方面）通行可能に。千曲バス青木線、小型バスにて運行再開。と徐々に復旧した。



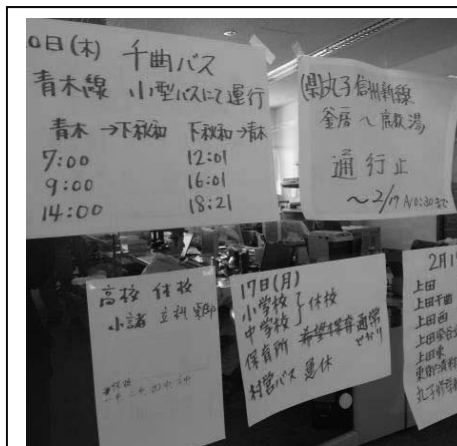
フル稼働になった除雪車



運動公園近くの雪捨て場

村によると、40もの農業用ビニールハウスが潰れるなどの被害を受けたという。だが人的な被害などはなかった。迅速な村の対応や情報提供、各地区や近所同士の助け合い、消防団の活動などによる成果ではないだろうか。

今年度は、台風による大雨の被害、今回の記録的大雪というように、天災により大きな被害が生じた。普段から防災への意識を持ち、それぞれが備えないといけない。また地域での協力、助け合いも不可欠であると感じた。冷たい雪だったが、人の温かさを感じることができた。



情報が張り出される対策本部



大雪で背中を痛めたアオキノコちゃん
（道の駅あおき駐車場）

信州合体ナガノイザー登場！ 誕生の謎に迫る

道の駅あおきと、村の図書館に1冊の漫画が登場した。内容は謎の敵と戦う巨大ロボット漫画。舞台は長野県某所にある村と書かれているが、どう見てもここ青木村。子檀嶺岳、十観山、夫神岳に各メカが格納され、敵が現れると発進。リンゴ、そば、野沢菜がモチーフの各メカが合体しかっこいいロボに変形する。道の駅あおき、信州昆虫資料館、田沢温泉、大法寺、アオキノコちゃんなど、青木村が随所に登場する。その誕生秘話を追った。



表紙も十観山をバックに



原作とメカ・背景担当はカムイコウジ氏。キャラクターは神北みゆき氏。今回は特別に原作者に話を聞くことができた。京都市生まれ大阪在住の作者。親戚のいた青木村に、幼少期から毎年夏休みに青木村に訪れていたという。夫神岳を背景にのびのび泳いだ村営プールや、昆虫や沢蟹を捕るなど多くの自然に触れ、飽きる事無く楽しく遊んだとのこと。大人になると有乳湯にゆっくり浸かって気持ちの良い時間を過ごした事、水が美味しいからかご飯が大変美味しい。と青木での思い出を話していただいた。

そんな愛着のある青木村のために何かをしたいという想いで、イラスト投稿サイト「pixiv」にて「ご当地ロボット&パイロット」という企画があり、長野県を選び応募。そこから構想が膨らみ、ほぼ一年がかりで冊子化。他県から訪れた人が、青木村の思い出として冊子を手にとってもらえたらとの願いから、道の駅でも販売を開始した。実は村のマスコットキャラのアオキノコちゃんのデザインもこの方。得意のマンガで青木の魅力を伝えてくれて嬉しい。そんな温かい想いのこもったこの作品は、道の駅あおきで500円という特別割引価格で発売中。お子さん、お孫さんにも、お土産にもおすすすめです。

青木時報を学ぶ 天正12年3月1日第16号より抜粋

青木村青年会研究会
二月十一日青木村学校講堂に於て

純真なる青年の叫び

研究 題

- 一、本會の統一に欠けなきや如何
- 二、支那有財産統一の件
- 三、本村に於て財源を得る良法なきや如何
- 四、本村青年會の組織如何
- 五、農村經濟を如何に改善すべきか
- 六、農村經濟に對する現代青年の態度如何
- 七、農村青年の都市集中の原因と之が防止策如何
- 八、家庭生活の改善方法如何
- 九、新思想に對する吾人青年の態度如何
- 一〇、善悪の標準
- 一一、青春時代に於ける性教育の實施如何
- 一二、現代青年の最も痛むる悩みは何か

下奈良本支部提出
入奈良本支部提出
青木支部提出
村松支部提出
夫神支部提出
殿戸支部提出
中村支部提出
細谷支部提出
中扶支部提出
香掛支部提出
入田澤支部提出
本會提出

午後一時二十分開會、堀内議長は青年には珍らしい温顔にほんのりと微笑を湛へながら此の會の趣旨を述べたる後發言者に對する注意あり。是より愈々各支部及本會の提出された十餘の問題を研究する運びになつた。先づ下奈良本支部提出について代表者多田君の説明あり。池田忠一郎君議事の進行上提出者より欠陥と認むる点あらば擧げられたい。と迫る。多田君「本會員たる各支部の年齢及總會の時期其他精神的方面等多々欠陥ありと認む」本問題は各支部提出題と關聯する處多きに依り他の問題と一括して議題に供しては如何と二三の意見あり。意見區々 結局栗林君よりの本會に關係ある四問題一括の動議成立

順序により各提出支部代表者の説明あり續いて「議長」議長「叫んで何時もは静からし。香掛敬夫君「私は第一の問題で勿論年齢は十五歳から三十歳迄を適當とし、會員の精神を統一する事がもつと大切と思ふ。第二に於ては會費が中々多く要るのは致方ないが村の互助會を受ける事は獨立團體としては考ふべきことと宜しく何れかの方法によつて財源を得る必要あり

此の時定刻に遅れた入奈の諸氏出席され

直に池田喜和治君「支部有財産云々とは例へば文庫の合間の如きで研究的の本は村の中央に置き他の本は巡視にすれば本の重複が避けられ良書も多く買へるが」とに對し横澤中君百姓としてのこゝ／＼出かけて研究なん出来ない。巡回文庫もいゝが重複も止むを得ぬと反駁する。香掛敬夫君文庫としては各支部の圖書交換貸出を希望す、而支部有財産統一は、理想にして困難な事である

栗林農夫君 抑も青年は自由なるもので徒に他に束縛されるべきものでない統一々々々無意味に名にだまされた形式ではないけな、事業に於ては他に適當な機關があらばそれに頼む。

各支部位の範圍に於て自發的に自由なる活動をする事が尤も力ある事と單に種々の連絡をざる爲に本會を中心とするのであつてつまり精神的統一が最も必要である尙本會として財源を造つて行く事は賛成であるが單に支部有財産統一は不可能の事と思ふ、次に村松提案の總會期日變更に就ては従來は政治団体に準據したのであるが本村などは天然に應じた一月頃の發期期に行ふに賛成である。

議長 前諸問題打切りを宣言す

大正12年2月11日建国記念日に行われた、青木村青年会研究会の様子が書かれている。11の支部がそれぞれ発表した。(当郷支部がないのは、当郷区が青木村に編入になるのは35年後の昭和32年のため。) 議題は財源を得る良法、農村經濟の改善、農村青年の都市集中の原因と防止策、家庭生活の改善方法、青春時代における性教育など多岐にわたるが、農村に関わることが多い。

栗林農夫(栗林一石路)氏は、青年は自由なもので束縛されるべきではないと述べている。多くの村の青年が、村のために研究し考えを巡らせ、真剣に意見交換をしていた様子が読み取れる。村における若い力はいつの時代も必要であり、その姿勢を見習わないといけないと感じた。

1年間の活動から

- 昨年5月から活動を開始した編集部。この1年を振り返り、編集部員からの一言をお届けします。
- 平成青木時報に約一年間携わることができて光栄でした。取材や編集も編集部の方々と和気あいあいとできて、とても良い刺激を受けました。もっと編集部員が集まってくれれば……求む編集部員！ (U)
- 「自分たちの村は、自分たちでおもしろくする！」村を盛り上げるべく、日々活躍する方々の姿を目にし、心が震えました。その背景には、村の中で着々と受け継がれてきた“自立の精神”がある。その想いを言語化して、わかりやすく伝えていけたらと思います。(山唄)
- 今年の目標。村内の飲み屋が気になるので制覇したい！人がつながる楽しいイベントができたらいいな。(甲斐)
- 沢山の経験をさせていただきました。そして、改めて青木の良さを感じる事が出来ました。本当にありがとうございました。(月香)
- 多くの方と携わりお役に立てることができました。地域の文化を大事にして守り伝えていきたいです。(林)
- この活動をしなければ出会えなかった人、できなかった経験も多くありました。大変ではありましたが、やれて良かったです。多くの方の協力に、感謝します！ありがとうございました。(編集長)

ショコラバウム

期間限定発売！ほろ苦いビターチョコとしっかりと食感がクセになる。レンジで温めるとふわっとした食感に。そば粉を使っていないのでアレルギーの方も安心。道の駅あおき、クロスロードあおきで絶賛発売中！(1,500円)

注文・お問い合わせ
クロスロードあおき 0268-49-0604



江戸時代に建てられた村指定文化財、沓掛の宮淵神社の神楽殿。村内で唯一の回り舞台を活用して、その文化的価値を発信し再認識したい…。私たちが幼少期に体験した、宮淵神社神楽殿での奉納芸能をもう一度行ないたい…という思いから平成青木時報編集部が企画。地区の大切な存在である神社において、お年寄りの方々には“懐かしさ”を、若者には“新鮮さ”を感じていただくイベントにするため、最高の演者がそろいました！どうぞお気軽におこしてください。

主催 平成青木時報編集部
 後援 青木村・青木村教育委員会
 協力 沓掛区

～出演団体～

- 青木村義民太鼓保存会
- 青木小学校金管バンド
- 下奈良本神楽保存会
- Hiroshiman(アフリカンドラム)
- 信州上田おもてなし武将隊
- 咲愛 (和ロックユニット)

イベント開催のお知らせ

神楽殿サウンドフェス

～復活！まわれ回り舞台～

会場：青木村沓掛
 宮淵神社
 (リフレッシュパークあおき隣)

2014年3月9日(日)
 13:00～15:00

観覧無料



編集部からのお知らせ

今年度最終号になりました。これまで7月から毎月出させていただきました。多くの方々にご協力いただき、活動することができました。取材を受けてくださった皆さん、協賛や広告の協力くださった皆さん、ご意見ご感想や応援も多々いただきました。この場を借りてお礼申し上げます。

来年度も継続を予定していますが、今年度の反省を活かしより良いものを作るための準備期間も必要と考え、次回の発行を6月にしました。この間に内容とデザインを吟味したいと思えます。また、しっかりと制作に取り組みたいと考え、発行を隔月にしてページ数を増やすことにしました。

今後ともご意見、ご感想お待ちしております。また、一緒に活動してくれる方も募集しています。来年度からの新しい平成青木時報も、どうぞよろしくお願ひします。約1年間ありがとうございました。

平成青木時報は、青年グループ「泥百笑(どろひやくしょう)」が、平成25年度長野県地域発元気づくり支援金を活用し、制作しています。

ご意見・ご感想お待ちしております。ありがとうございました。

平成青木時報編集部 代表 山浦和徳

電話 090-2308-8270

メール aokijiho@gmail.com

ホームページ <http://doro100sho.jimdo.com/>

Facebook <https://www.facebook.com/aokijiho>

Twitter @aokijiho

新聞のご用命は・・・

東郷堂

青木村の新聞配達は私達が担当しています。

小宮山克子 TEL: 49-2180

林 真理 TEL: 49-2726



信濃毎日新聞 日刊スポーツ
 朝日新聞 スポーツニッポン
 毎日新聞 日刊工業新聞
 日本経済新聞 週刊上田

